

(1/2)

2008年10月3日

報道関係者各位

株式会社 千趣会

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol.25』

20-50代女性 4,674人に「家庭菜園」について聞きました。

自分で野菜や果物を作ったことのある人は2人に1人
作り始めた理由は「安全・安心」「新鮮でおいしい」
「作る楽しさ」「子供が喜ぶ」「経済的」など

経験のない人でも3割が今後作ってみたいと回答
家庭菜園の裾野は今後も広がりそう

株式会社千趣会(本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘)が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性の生活スタイルや意識についての調査を随時行っております。

このところ自宅のベランダや庭で野菜や果物を手作りする人が増えているようです。そこで今回は家庭菜園に対する意識と実態について、スタイルモニター4,674人に聞いてみました。

◆ 自分で野菜や果物を作ることに興味・関心のある人は、6割強

自分で野菜や果物を作ることに「とても興味・関心がある」人は17%、「わりと興味・関心がある」人の47%を合わせると、6割強の人が興味や関心を持っていることがわかりました。

◆ 自分で野菜や果物を作ったことのある人は2人に1人

5割の人が自分で野菜や果物を作ったことが「ある」と回答。年齢が高くなるとともに作ったことのある人の割合は大きくなりました。また、「ないが、作ってみたい」と答えた人は3割強で今後も家庭菜園人口は増えていきそうです。

◆ 作ったことがあるのは、野菜6割強、野菜と果物どちらも3割

年代に関係なく、作ったことがあるのは「野菜」が6割強、「野菜と果物どちらも」が3割という結果になりました。

◆ 野菜や果物作りを始めた理由は「安全・安心」「新鮮でおいしい」「作る楽しさ」など

野菜や果物作りを始めたきっかけを聞いてみると、「自分で作ると安全・安心だから」「自分で作った方が新鮮でおいしいと思ったから」「作ること自体が楽しそうだったから」「子供と一緒に育てると子供が喜ぶと思ったから」「経済的に安く出来そうだったから」という理由に集中しました。

◆ 今後も野菜や果物作りを続けたい人は、89%

今後の意向については、「今以上に力を入れて続けたい」18%、「今と同じくらいで続けたい」52%、「今ほどは力を入れなくて続けたい」19%で合計89%の人が今後も続けていきたいと思っているようです。

◆ 野菜や果物作りは、自分にとって「楽しみ」「お得な趣味」「生活の1コマ」など

「私にとって野菜や果物作りは○○○だ。」の○○○に入る言葉を聞いてみると、「育てる楽しみ」「収穫する楽しみ」「食べる楽しみ」や「実益を兼ねた趣味」「節約になる趣味」、また「生活の一部」「毎日の日課」「家事の一部」、「ゆとりの時間」「癒される時間」「気分転換」、「子供、夫、親など家族のふれあい」、「食育」「食の安全」「季節を感じるもの」とのことでした。節約、ふれあい、安全、充足感など、今の時代を象徴するような言葉が目につきました。

なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ「くらしのたまご」ライブレポートをご覧ください。

http://www.kuratama.jp/report_live/051/live051.htm

◎調査の方法:ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターバンクに登録している 20-59 歳の全国の女性で有効回答数は 4674 人。インターネットを使って 2008 年 8 月 22 日～8 月 28 日に実施しました。

本件に対する問い合わせ

株式会社 千趣会 大阪市北区同心 1-8-9 総務・IR 広報部 田島 土井

TEL 06-6881-3100 FAX 06-6881-3050 E-mail pr@senshukai.co.jp